

取扱説明書

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

製品

+



DUAL GAUGE RS

センサータイプ

エンジン回転 + デジタル

DRS-T

目次

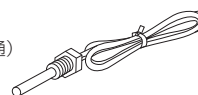
セット内容・警告・注意	1
各部の名称と表示の種類	1
配線接続方法	2
(別売温度センサーの取付方法)	2
各種設定	3
製品の固定	3
基本動作	4
表示の切り換え方法	4
ピーク値の表示とリセット	4
照明の明るさ調整	4
故障かな？と思ったら	4

内容物をご確認ください



！ 水温または油温の表示には別売の温度センサーが必要です。

温度センサー
(水温・油温共通)
品番：TS



装着時に準備する 道具と材料

- ・ニッパー
- ・圧着ペンチ
- ・絶縁テープ
- ・レンチ
- ・センサーアダプター
(ネジサイズ 1/8PT)
- ・シールテープ
(液漏れ防止用)
- など

警告

下記内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

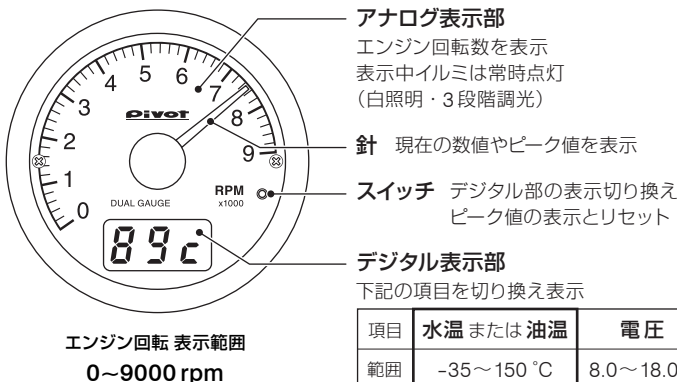
- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品固定や配線処理は確実に行う
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

下記内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。
アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

各部の名称と表示の種類

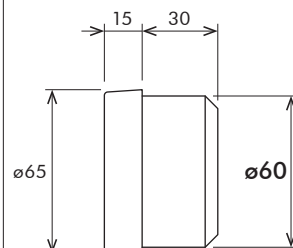


エンジン回転 表示範囲
0～9000 rpm

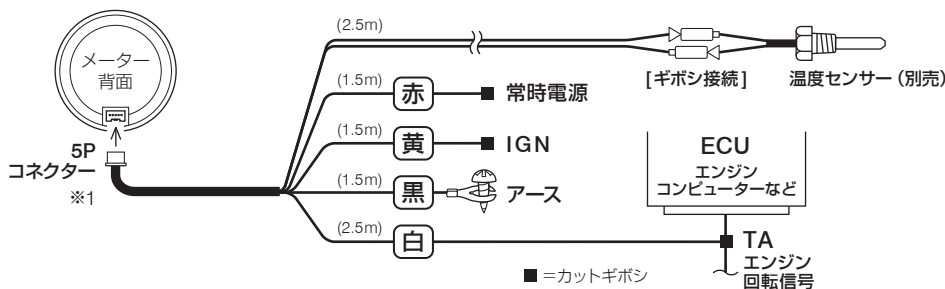
項目	水温 または 油温	電圧
範囲	-35～150℃	8.0～18.0V

別売の温度センサーの取り付け先によって水温か油温を選択可能。
装着方法は2ページ参照

サイズ [単位: mm]



配線接続方法



別売の温度センサーの取付け先によって「水温」か「油温」を選択可能

- 温度センサーの取付け方法は、本ページ下部の「別売温度センサーの取付け方法」を参照。
- 各車ごとのセンサーアダプターは別途お買い求めください。

⚠ 安全のため、配線作業時はバッテリーの⊖端子を外してください。

常時電源

- 赤** 常時+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。
(IGN・ACC不可)

IGN

- 黄** キースイッチONで+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。
(常時・ACC不可)

アース

- 黒** アースが取れる金属部のネジに固定する。
プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

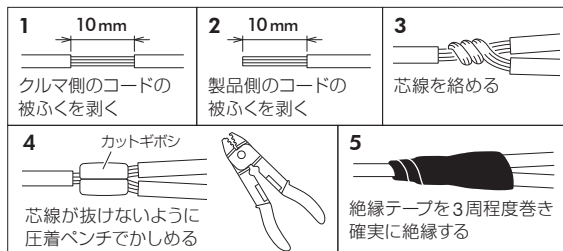
エンジン回転信号

- 白** 別紙「配線一覧表」で位置を確認し、付属のカットギボシを使用して接続する。
接続は車輛側コードの指示された場所に行ってください。



※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクターを接続しないようご注意ください。

カットギボシの使い方



⚠ ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

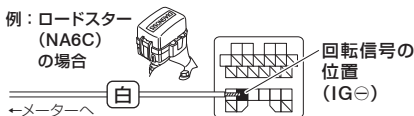
- 両方接続しても正常に動作する
▶ そのまま使用可能。

- 動作しない、または不安定な動作をする

▶ ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

⚠ 回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

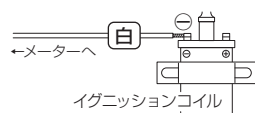
- ダイアグノシス(チェックコネクター)からとる場合



上記の接続をして回転数表示が極端に少ない場合

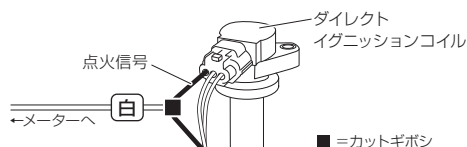
例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。

- イグニッションコイルからとる場合



気筒設定数を「1」にします。
⇒ 3ページ
設定A 気筒数設定

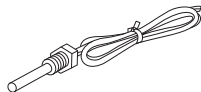
- ダイレクトイグニッションコイルの点火信号からとる場合



※ 気筒数設定を「1」にします。
※ 点火信号の配線位置は車種によって異なります。

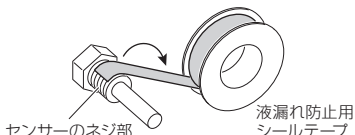
別売温度センサーの取付け方法

温度センサー
(水温・油温共通)
品番：TS



⚠ 取り付け時の注意

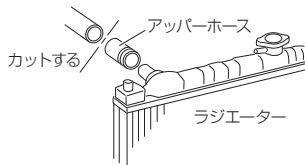
- 取り付ける場所に合ったセンサーアダプター(ネジサイズ1/8PT、市販品)をご用意ください。
- センサーアダプターの取り付けは、各アダプターの取扱説明書に従い、水や油漏れのないようご注意ください。
- 火傷やケガの恐れがあるためエンジンが冷えてから作業を行ってください。
- 別売温度センサーのネジ部には必ず液漏れ防止用シールテープを巻いてください。



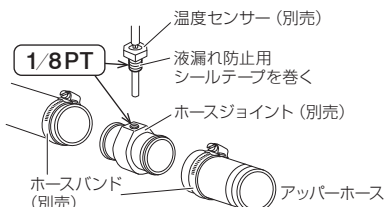
水温を表示させる場合

ラジエーターのアップパーホースへホースジョイント(別売)を使用して装着する。

- ① ラジエーターのアップパーホースを適当なところでカットする。(冷却水が出ますので補充用クーラントをご用意ください。)

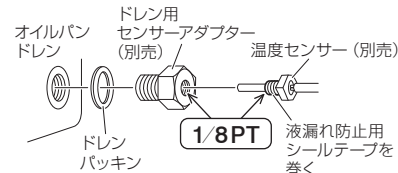


- ② カットしたアップパーホースへホースバンドを通し、ホースジョイントを割り込ませ、固定する。その後、水漏れのないようにセンサーを確実に取り付ける。

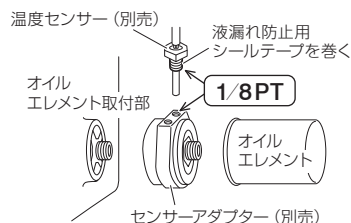


油温を表示させる場合

オイルパンのドレンの場合



オイルエレメント取付部の場合



⚠ 最低地上高の低いクルマや悪路を走行するクルマの場合、センサーが下方方向に突起するような取り付け方をすると、地面等に接触し破損・故障の原因となりますので別の場所へお取り付けください。

各種設定

準備 取り付ける車の気筒数、サイクル数をご確認ください。

設定 A 気筒数設定

クルマごとの気筒数を設定します。
(出荷時は4気筒に設定されています)

□ = デジタル表示部
() 内は補足説明

- OFF** キー OFF の状態でスイッチを押す (表示なし)
 - ON** スwitchを押したままエンジンは始動しないでキースイッチ ON (現在の設定を点滅表示)
 - 表示点灯から5秒以内にスイッチをはなす (点滅)
 - スイッチを押して、表示を切り換えてクルマの気筒数に合わせる (点滅)
- 気筒数の表示パターン**
- | 1気筒 | 2気筒 | 3気筒 | 4気筒 | 5気筒 | 6気筒 | 8気筒 | 特A |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| P-1 | P-2 | P-3 | P-4 | P-5 | P-6 | P-8 | P-A |
- 合わせたらスイッチをはなす (点滅)
 - 5秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ **設定完了** (通常表示)

※ 1気筒、2気筒設定の場合、必要に応じて信号レベル切り換えをLoに設定してください。 ⇒ **信号レベル切り換え** をご参照ください。

- 気筒数設定は出荷時は4気筒に設定されていますが、設定後は前回の設定値が表示されます。
- 2サイクルの場合は気筒数を2倍にして設定してください。
(例：2サイクル3気筒車の場合6気筒設定)

【参考】 1気筒車：日産車（フェアレディZ Z33）・マツダ車（アテンザ等）
2気筒車：マツダ車（RX-8）・スバル車（プレオ初期型等）
4気筒車：ロータリー車（RX-7）
特A：日産マーチ/キューブ等のHR型エンジン搭載車

設定 B 信号レベル切り換え

回転信号の検出レベルを切り換えます。

下記以外の車種は切り換えの必要はありません。

日産（フェアレディZ Z33）、マツダ（H14年以降の一部）、三菱（コルト他）、スバル（プレオ初期型等）
※詳細は、別紙「配線一覧表」をご覧ください。

配線
一覧表

- OFF** キー OFF の状態でスイッチを押す (表示なし)
- ON** スwitchを押したままエンジンは始動しないでキースイッチ ON (気筒数設定を点滅表示)
- スイッチを押したまま6秒待つ (点滅)
- 信号レベルが表示されたら、スイッチをはなす (現在の設定を点滅表示)
- スイッチを押して信号レベルをクルマに合わせる
Hi = 一般の場合 **Hi**
Lo = レベルが小さい場合 **Lo**
- 合わせたらスイッチをはなす (点滅)
- 5秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ **設定完了** (通常表示)

- 信号レベルは出荷時は「Hi」に設定されていますが、設定後は前回の設定値が表示されます。

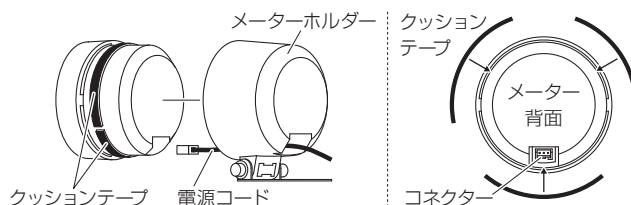
製品の固定

メーターホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

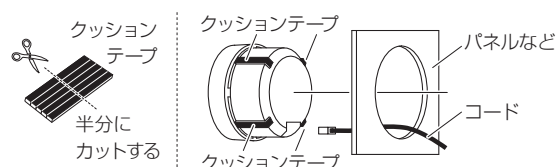
- メーターホルダーを両面テープで固定する。**
※ 粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。
- ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。**
六角穴付ネジ

- メーターにクッションテープを貼り、電源コードを接続しメーターホルダーに差し込む。**
※ 抜けやすい場合はクッションテープを追加してください。



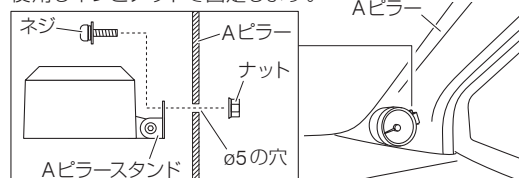
パネルなどに埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、コードを接続しパネルなどに差し込む。



Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付ける場合

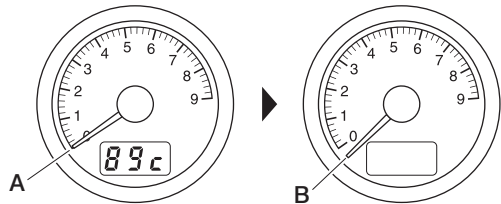
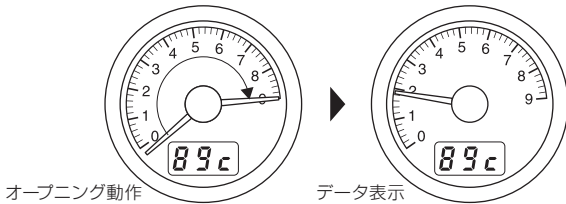
Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にBへ移動。



※ 始動時のオープニング動作はステッピングモーターの針位置設定に必要な動作です。
※ コネクター装着後またはバッテリー交換後は初回のみオープニング動作が長くなります。

表示の切り換え方法

デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる

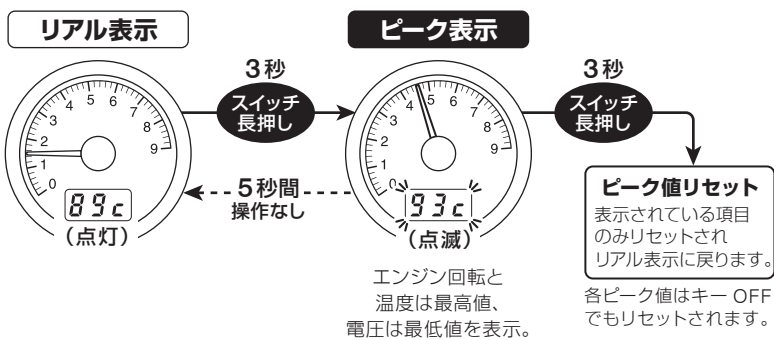


水温・油温 表示の見かた

-35 ~ -1°C	0 ~ 99°C	100 ~ 150°C
- 88	88c	188
左の7セグが- (マイナス)	右の7セグがc	数値のみの表示

※ 温度センサー未装着時は「- - -」表示になります。

ピーク値の表示とリセット



照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

1

スイッチ
6秒長押し

メーター作動中に
スイッチを長押しします

2

3秒後にピーク値、
6秒後に現在の
明るさを表示

L-3 (例=L-3)

3

現在の設定が
表示されたら
スイッチをはなす

4

スイッチを押すごとに明るさが切り換る

明るい → 中間 → 暗い

L-3 → L-2 → L-1

製品出荷時は最も明るい状態 (L-3) の設定です。

5

設定を合わせたら
スイッチをはなす

6

5秒間操作なしで
通常表示に戻る ▶ 設定完了

故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
エンジン始動で針もデジタル表示部も動作しない。	5Pコネクター、赤黄黒コードの接続不良。	再度ご確認ください。
エンジン始動でオープニングデモは行うが、針だけ動作しない。	白コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	信号レベルがあっていない。	「信号レベル切り換え」と配線一覧表をご参照の上、確実に設定してください。
温度表示されない(「- - -」表示)	温度センサーの接続不良または断線。	再度ご確認ください。
各種設定が記憶されない。	赤黄コードの配線間違い。	必ず赤コードは常時電源、黄コードはIGN電源へ接続してください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※ 弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※ 意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※ PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。